



Mac at Work

社員の体験キット

2023年3月

Macで好スタートを切りましょう。

Employee Choiceプログラムを効果的に進めるには、会社のネットワークでMacをサポートするだけでなく、優れた社員体験を提供することも重要です。

このキットは、Employee Choiceの推進計画とコミュニケーションに関してみなさんをサポートするために作られています。社員のみなさんが新しいデバイスを使い始められるよう支援し、仕事の成功に必要なリソースを提供するためにお使いください。

ガイダンス、カスタマイズ可能なテンプレート、関連資料が含まれており、プログラムの構築、詳細情報の連絡、プロセス全体にわたる社員のサポートに使用できます。

[計画を立てる >](#)

[Macを選ぶ理由 >](#)

[コミュニケーションのフェーズ >](#)

[トレーニングに関する考慮事項 >](#)

[関連情報 >](#)

[商標 >](#)



計画を立てる

ビジョンを定義する

Employee Choiceプログラムを成功させるための最初の手順は、ビジョンを定義することです。シンプルかつ明確で、社内の文化と関連性を持たせる必要があります。Macを使うことで得られる成果を示すことも必要です。以下の例を参考にしてください。

「すべての社員が生産性を高め、創造力を発揮して共同作業ができるようにしたいと考えています」

「選択肢を提供することで、社員のみなさんは最高の仕事ができるようになると考えています」

「社員のみなさんは成功に必要なスキルとツールを利用できるようになります」

目標を設定する

ビジョンの定義と同時に、どの成果を成功の指標とするかを決めます。以下の例を参考にしてください。

- 社員 - 意欲、満足度、定着率の向上
- IT部門 - 導入の迅速化、管理の簡素化、サポート費用の削減
- 事業部門 - 生産性と効率、コスト削減効果の向上

名称とアイデンティティ

新しいプロジェクトの開始を印象付け、認識しやすくするため、多くの組織はEmployee Choiceプログラムに社内向けの名前を付けています。一貫性を持たせるため、シンプルに「Mac at [会社名]」を使う場合もあります。プログラムに名前を付ける場合は、すべてのブランディングが本ガイド後述の[デザインガイドライン](#)に従っていることを確認してください。



基本的な計画を立てる

注文、対象となる社員、ソフトウェアの互換性など、特定の社内コミュニケーションをどのように扱うかを定めることが重要です。次のような事項を考慮しましょう。

- 社員はデバイスをどのように注文するか？
- マネージャーは社員のリクエストをどのように承認するか？
- 社員のトレーニングをどのように行うか？
- 社員にどのようにサポートを提供するか？（ヘルプデスク、ポータルなど）
- 互換性のあるソフトウェアはどれか？

タイムライン

主なマイルストーンのタイムラインを作成し、対象者と共有します。

成果を測定する

成果をどのように定義しますか？幅広い測定項目を検討し、ビジョンと目標を参照して基準を決めてください。

- 使用する測定方法を検討します。（アンケート、参加者への聞き取り、業界調査、TCO、サポートチケットの数、全般的な社員の満足度）
- 変化は長期間にわたって徐々に起こります。プラスの変化を想定して期待値を設定しておき、フィードバックを検討して途中で調整することもできます。



Macを選ぶ理由

なぜMacを提供するのか、関係者に理解してもらうことが重要です。定義したビジョンをサポートする機能を強調し、事業部門やIT部門の経営幹部、マネージャー、社員などあらゆる人に伝える際には、以下の関連資料が役立ちます。

主なメッセージ：

直感的なユーザー体験

初めてMacを使う場合も、古いモデルから更新する場合も、Macなら簡単に必要なものを見つけたり、情報を整理したり、あらゆるタスクをこなしたりできます。そのクリアでシンプルで理にかなったデザインは、とりわけiPhoneまたはiPadユーザーに理想的です。複数のウインドウでの作業も、ファイルを探すのも思いのままです。使いたい時に使いたいコントロールにすばやくアクセスできるので、かつてないほど簡単に操作できます。

卓越したパフォーマンス

次世代のMシリーズチップにより、Macがかつてない性能を手に入れました。仕事も、共同作業も、もの作りも、好きな場所で好きなだけ取り組みます。

Macは、Apple Mシリーズチップの驚異的なパワーを内蔵。どのモデルを選んでも、とてつもないパフォーマンスが手に入ります。あざやかなディスプレイ、プロ向けのポート、超高速SSDストレージも搭載しました。

MacBook Proは、プロユーザーに革命的なパフォーマンスを届けます。パワフルなM2 Proまたは一段とパワフルなM2 Maxを内蔵。どちらのチップを選んでも、プロレベルのワークフローが飛躍的にパワーアップし、バッテリーは驚くほど長持ちします。臨場感あふれる14インチまたは16インチのLiquid Retina XDRディスプレイも、プロユーザーに必要なポートもすべて搭載。これまで以上にできることが広がるマシンです。

驚くほど長持ちするバッテリー

MacBookのバッテリーは、1回の充電で18~22時間使えます。従来のバッテリーの技術と比べて、リチウムイオンバッテリーはより速く充電できて、より長持ちします。出力密度もより高く、耐用年数が延びた一方で、バッテリー本体はより軽くなりました。

既存のソフトウェアおよびシステムとの互換性

Apple製デバイスは、Eメールやメッセージ、ネットワーク接続、ファイル共有、共同作業など、社内で使われているほとんどのエンタープライズシステムやアプリケーションと互換性があります。社員のみなさんは、仕事に必要なすべてのものにApple製デバイスからアクセスすることができます。Microsoft Office 365も、Slackも、Zoomも、Macで使えます。

アクセシビリティ機能を内蔵

テキストの読み上げやVoiceOver、Safariのリーダー表示、ディスプレイ設定(拡大、色の反転など)、トラックパッド動作の設定などの機能を使えば、すべての社員がそれぞれ最も仕事をしやすいように自分のデバイスを設定できます。

セキュリティを最優先

Appleは、数々の先進的なテクノロジーを使ってMacのハードウェアとソフトウェアを設計しています。そのすべてが連係してアプリケーションをより安全に実行し、企業データを保護し、ウェブ上で社員を守ります。内蔵の機能により、ユーザーのプライバシーを損ねることなく、同じデバイス上で個人と会社の情報を分離して保護します。

総所有コスト

MacとiPadは軽くて丈夫な上に高品質の素材で作られているので、社員が使うのに最適です。MacとiPadはメンテナンスの必要が少なく、高品質で残存価値が高いため、2年、3年、4年と長く使うほど、より高い価値を発揮します。

ゼロタッチ導入

Apple Business Managerを活用すれば、社員に直接デバイスを配布することができ、社員は箱から出してすぐに使うことができます。手動で構成する必要はありません。さらに、Appleのプラットフォーム全体にわたる柔軟な導入モデルによって、IT部門は業務に最適なツールをこれまでになく迅速に社員に提供できるようになり、社員はすぐに仕事に取りかかれるようになります。

持続可能性

私たちは、地球の資源を枯渇させることなく、世界で最も象徴的な製品を作ることができると信じています。Appleは企業活動全体ですでにカーボンニュートラルを達成しており、2030年までにすべてのApple製品をカーボンニュートラルにすることを目指しています。リサイクル素材や再生可能な素材のみを使ってMacを作ること、またサプライチェーンのあらゆるレベルで100%再生可能エネルギーにアップグレードすることに取り組んでいます。



コミュニケーションのフェーズ

プログラムを成功させるには、重要なフェーズでのコミュニケーションが欠かせません。

5つの重要なフェーズがあります。明確なコミュニケーションによって、社員の関心を高め、立ち上げの成功をサポートし、関与を促すことができます。次ページ以降では、これらのフェーズでのコミュニケーションに使えるテンプレートを紹介します。



準備

明確な戦略と社員のデータを用いて、成功に向けて準備を整えます。

- プランガイドを準備する
- アンケートのテンプレート
- プランのプレゼンテーションを共有する

立ち上げ

キックオフメッセージとキックオフイベントで、プログラムを全員に知ってもらいます。

- 「それも、Macにおまかせ」ビデオ
- 「Macを選ぼう」Eメール
- 「Macを選ぼう」ランディングページ
- 「Macを選ぼう」イベント掲示物
- 「Macを選ぼう」バナー

関心と検討

既存の社員および新社員とのコミュニケーションを続け、情報を提供して意思決定をサポートします。

- 「更新の時期です」Eメール
- 新規募集Eメール
- アップグレードする社員向けの返却依頼Eメール
- ランディングページのテンプレート
- 「Macがやってきました」Eメール
- Macの選択についてよくお問い合わせいただく質問(FAQ)

注文とオンボーディング

社員体験をできる限りシームレスで楽しいものにします。

- 「デバイスの選択」Eメール
- ポータルの例
- 「新しいMacのための準備を始めましょう」Eメール
- 「新しいMacによろこそ」Eメール
- 「新しいMacを設定しましょう」Eメール
- 「新しいMacを最大限に活用するためのヒント」チェックリスト

サポート

ユーザーがデバイスを使い始めるのを支援し、使っていくうえでの問題解決をサポートします。

- 「ヒントとコツ」Eメールニュースレター

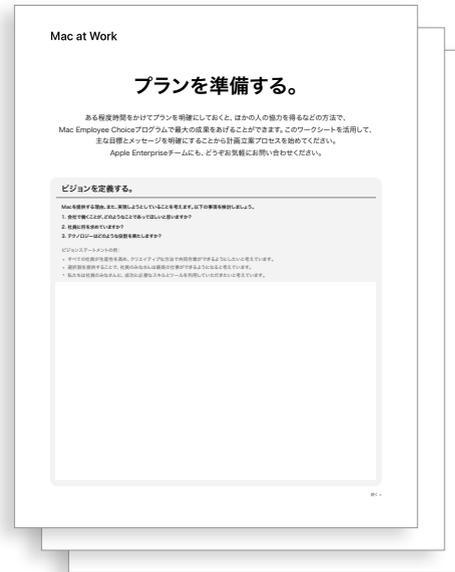
コミュニケーションのフェーズ

① 準備

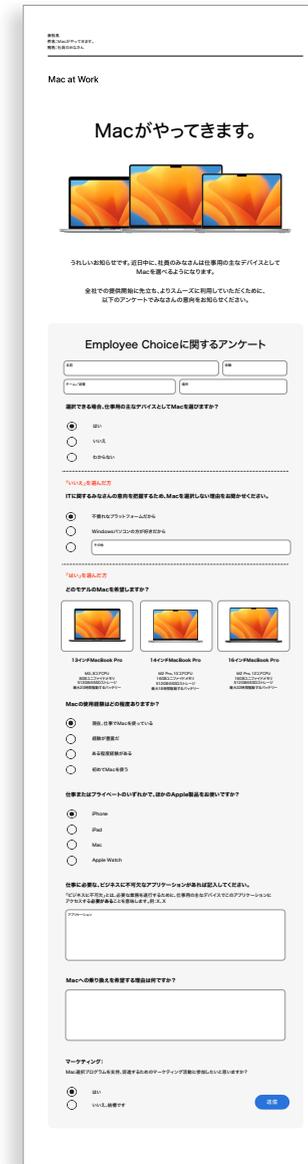
このフェーズでは、社内チームの足並みをそろえ、戦略について合意し、プログラムを成功させるための土台を作ります。このフェーズの間に、テンプレートを完成させ、配布物一覧を作成し、社員にアンケートを実施して独自の要件について理解を深める必要があります。この段階で作成したものはすべて、残りのコミュニケーションプランを通じて使用できます。

- プランガイドを準備する
- アンケートのテンプレート
- プランのプレゼンテーションを共有する

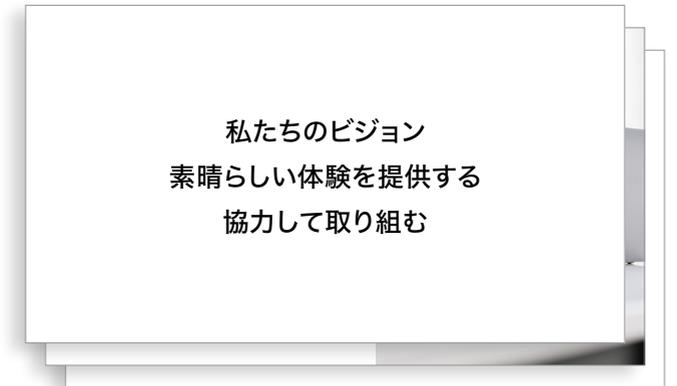
プランガイドを準備する



アンケートのテンプレート



プランのプレゼンテーションを共有する



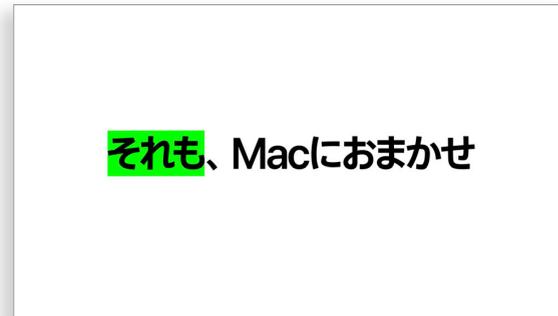
コミュニケーションのフェーズ

② 立ち上げ

実際のイベントとリモートイベントの両方でプログラムのキックオフを行い、メッセージが組織全体に届くようにします。関心を集めるため、またプログラムが支持されていることを示すため、立ち上げにはエグゼクティブチームにも参加してもらいます。

- 「それも、Macにおまかせ」ビデオ*
- 「Macを選ぼう」Eメール
- 「Macを選ぼう」ランディングページ
- 「Macを選ぼう」イベント掲示物
- 「Macを選ぼう」バナー

「それも、Macにおまかせ」ビデオ



「Macを選ぼう」Eメール



「Macを選ぼう」ランディングページ



「Macを選ぼう」イベント掲示物



「Macを選ぼう」バナー



*ビデオアセットについては、お客様は2028年12月まで社内向けにのみ使用できます。ビデオおよび画像は、いかなる方法でも操作することはできません(オブジェクト、フレーム、透かしを重ねる、など)。

コミュニケーションのフェーズ

③ 関心と検討

社員の関心を促すため、プログラムのコミュニケーションを継続する必要があります。コミュニケーションを提供する際には「準備」の段階で作成したプランが役立ちます。既存の社内コミュニケーションチャンネルを使って、社員が使い慣れている方法で行います。デバイスを更新またはアップグレードするタイミング、古いデバイスを返却する方法、新機能の活用方法などを社員に通知します。

- 「更新の時期です」Eメール
- 新規募集Eメール
- アップグレードする社員向けの返却依頼Eメール
- アップグレードする社員向けの返却依頼のフォローアップEメール
- ランディングページのテンプレート

「更新の時期です」Eメール



新規募集Eメール



アップグレードする社員向けの返却依頼Eメール



アップグレードする社員向けの返却依頼のフォローアップEメール



ランディングページのテンプレート



コミュニケーションのフェーズ

③ 関心と検討(続き)

社員の中には、初めてMacを評価する人もいるかもしれません。十分な情報にもとづいて自信を持って選ぶことができるよう、Macを使うことで得られるメリットについて追加情報を提供します。MacBook ProとMacBook Airのどちらかを選べるオプションを提供している場合は、[リソース一覧](#)を参考にすることで、どちらが自分にとって最適か社員自身が判断することができます。

- 「Macがやってきました」Eメール
- Macの選択についてよくお問い合わせいただく質問(FAQ)

「Macがやってきました」Eメール



Macの選択についてよくお問い合わせいただく質問(FAQ)



コミュニケーションのフェーズ

④ 注文とオンボーディング

社員がMacを選んだあとは、できるだけシームレスでポジティブな体験にすることが重要です。スムーズで心躍る体験になるよう、明確なコミュニケーションと重要リソースへの簡単なアクセスでプロセスを簡素化します。

- 「デバイスの選択」Eメール
- ポータルの例

Macの素晴らしいオンボーディングプロセスを提供する機会は数多くあります。一貫性のある簡潔なコミュニケーションを行うことで、社員は、いつ、何が起るかを確実に把握できます。企業によっては、さらに一歩進めて楽しい体験にしたり、会社のミッションやブランドと連携させる場合もあります。「社員向けスターターガイド」と「クイックツアー」は、みなさんの取り組みをサポートする重要なリソースです。

- 「新しいMacのための準備を始めましょう」Eメール
- 「新しいMacによろこそ」Eメール
- 「新しいMacを設定しましょう」Eメール
- 「新しいMacを最大限に活用するためのヒント」チェックリスト

「デバイスの選択」Eメール



ポータル例



「新しいMacのための準備を始めましょう」Eメール



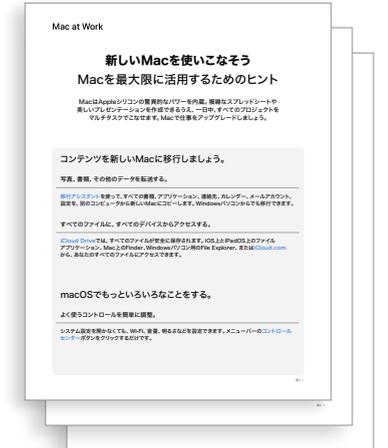
「新しいMacによろこそ」Eメール



「新しいMacを設定しましょう」Eメール



「新しいMacを最大限に活用するためのヒント」チェックリスト



コミュニケーションのフェーズ

⑤ サポート

ユーザーがデバイスを使い始めることができるよう支援し、使用時の問題解決をサポートするため、Appleは資料やセルフサービスのツールを豊富に用意しています。以下は、社員をサポートする方法の一例です。

- アンケートを実施してユーザーがMacにどのように適応しているか把握し、関連する質問にカスタマイズしたコミュニケーションで対応する。
- 関連するAppleのリソースを会社のニュースレターに含めたり、特定のユーザー向けのコミュニケーションを提供したりする。
- イベントやTech BarのためのAppleの基本のプレゼンテーション資料を使って、初めてMacを使うユーザーに操作方法を指導する。
- 最寄りのApple Storeで開催されるToday at Appleセッションへの参加をすすめる。詳しくは、アカウントチームにお問い合わせいただくか、apple.com/jp/today/をご覧ください。

アンケートを実施して、ユーザーの状況やユーザーが疑問に思っていることを把握するとよいでしょう。貴重な洞察を得ることができ、それに応じてコミュニケーションを調整できます。

- 「ヒントとコツ」Eメールニュースレター

「ヒントとコツ」Eメール ニュースレター



トレーニングに関する考慮事項

あらゆる体験レベルで、すべての社員のニーズに結びつけることが重要です。Employee Choiceプログラムを導入する際は、次のことを考慮してください。

Macの基本

Macを使ったことがない社員向けに、最初にナビゲーションとオリエンテーションを行う必要があります。Dock、Finder、Spotlight、システム設定といった主な機能と新しい用語について説明します。

Macの生産性

すでにiPhoneやiPadを使っている社員なら、Macが自分のAppleデバイスとシームレスに接続することができます。例えば、iMessage、リマインダー、メモなどのアプリケーションは手間をかけなくても同期できることや、Instant Hotspot、AirDrop、Sidecarなどの機能がMacで使えることを知っておくと、それらを活用することができます。これらの機能が組織で使用可能になっていることを、IT部門に確認してください。

社内ITシステムとの接続

Macの使用経験に関係なく、社員は社内環境で使うための設定方法を知りたいはずです。ゼロタッチ導入、アプリケーションの互換性、Wi-Fiへの接続、VPNへのログイン、プリント、新しいMacの注文といった重要なトピックについてユーザガイドを提供すると、スムーズに導入を始めることができます。



関連情報

コミュニケーションにお使いいただける役立つリソースをご紹介します。

Apple at Work

それも、Macにおまかせ。apple.com/jp/business/mac

製品ページ

主な機能や詳しい仕様など、最新のMacに関するすべての情報を入手できます。

Mac : apple.com/jp/mac

MacBook Air : apple.com/jp/macbook-air

MacBook Pro : apple.com/jp/macbook-pro

macOS : apple.com/jp/macos

サポートページ

ユーザーが製品を使い始めたり、新機能を一目で確認したりする場合に最適です。

Mac : support.apple.com/ja-jp/mac

MacBook Air : support.apple.com/ja-jp/mac/macbook-air

MacBook Pro : support.apple.com/ja-jp/mac/macbook-pro

macOS : support.apple.com/ja-jp/macos

Windowsから乗り換える時に役立つMacの使い方のヒント : support.apple.com/ja-jp/HT204216

Macでは何と呼びますか? : support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/cpmh0038/mac

ユーザガイド

それぞれの「目次」からヒントにすばやくアクセスできます。詳しいサポートページも用意されています。

macOS : support.apple.com/ja-jp/guide/mac-help/welcome/mac

MacBook Air : support.apple.com/ja-jp/guide/macbook-air/welcome/mac

MacBook Pro : support.apple.com/ja-jp/guide/macbook-pro/welcome/mac

Appleの取り組み

アクセシビリティ、持続可能性、プライバシーに対するAppleの取り組みを詳しく説明しています。

アクセシビリティ : apple.com/jp/accessibility

環境 : apple.com/jp/environment

プライバシー : apple.com/jp/privacy

サポートチャンネル

以下の各コンテンツでは、あらゆるレベルでAppleユーザーをサポートしています。

「Appleサポート」ウェブサイト : support.apple.com/ja-jp

「Appleサポート」アプリケーション : apps.apple.com/jp/app/apple-support/id1130498044

AppleサポートのTwitterアカウント : twitter.com/applesupport (英語)

AppleサポートのYouTubeアカウント : youtube.com/applesupport (英語)

商標

テキスト内で「Apple」の名称を使用する場合

企業や一般消費者を対象としたコミュニケーションでは、会社名を「Apple」と表記します。正式な会社名であるApple Inc.またはApple Japan合同会社は、法律関連文書でのみ使用します。

テキスト内で「Mac at Work」および「Mac Employee Choice」を使用する場合

プログラム名は大文字と小文字の表記に注意し、必ず「Mac at Work」および「Mac Employee Choice」としてください。

ロゴとロックアップ

Mac at Workのロックアップと会社ロゴは、対称になるように配置してください。



製品名

小文字の「i」で始まる製品名はすべて、文章、段落、タイトルの先頭であっても常に「i」を小文字、「P」(または適切な文字)を大文字、これに続く文字を小文字で表記してください(例:iPhone、iPad、iMac)。

ほとんどのApple製品の名称は商標です。Appleの商標を翻訳しないでください。英語以外の文章中で使う場合でも、必ず英語の商標を表記してください。Appleの商標は、Apple商標リストwww.apple.com/legal/intellectual-property/trademark/appletmlist.html(英語)に記載されている通りに表記してください。Apple製品の名前は必ず単数扱いにし、所有格のアポストロフィーは付けしないでください。「Apple Watches」のように複数形にしたり、「iPhone's」のように所有格のアポストロフィーを付けたりしないでください。モデル、タイプ、デバイスなどの一般的な語句は複数形にしても、所有格のアポストロフィーを付けてもかまいません。

商標情報

マーケティング資料を作成する場合は必ず、www.apple.com/legal/intellectual-property/trademark/appletmlist.htmlのApple商標リスト(英語)で最新のApple商標情報を確認してください。Appleの商標の使い方の詳細については、www.apple.com/jp/legal/intellectual-propertyをご覧ください。

Apple Legalウェブサイトwww.apple.com/jp/legalに記載されている情報をご確認の上、ご質問がある場合はApple商標部門(appletm@apple.com)までEメールでお問い合わせください(英語での対応となります)。返答には最長1週間かかる場合があります。

